

令和6年度保護者等のアンケート結果の考察

【1 安全安心な学校づくりに努める】

どの項目もA+Bの評価が8割を超えており、概ね良い評価をいただきました。

スクールバスの時間やルートに関する御意見がありました。安全な運行のために変えられないところもありますが、必要に応じて検討していきたいと思います。

児童生徒が安全安心な学校生活を営めることは、学校において最も重要なことです。今後も児童生徒の健康観察を行い、必要に応じてマスクの着用や換気等の必要な策を講じます。また、児童生徒の安全確保のための訓練等も引き続き、行ってまいります。保護者等の皆様にも引き渡し訓練等において、御協力のほどよろしくお願いいたします。

いじめ、人権に関する項目でE評価（分からない）が増えました。いじめに関しましては、アンケートを実施し、ホームページで結果を周知しております。引き続き、普段から児童生徒の様子を観察したり、今TALK週間等を活用したりしながら、予防及び対策を行っていききたいと思います。人権に関しては、職員の研修は元より、毎月人権目標を設定し、ホームページや学部だより等で取組をお伝えしております。今後も現在の取組を継続していくとともに様々な手段や媒体で取組を発信していきます。

【2 児童生徒一人一人が生き生きと活動できる学校づくりに努める】

各学部の取組については教職員、保護者共にA+B評価が約9割と高く評価が得られました。小学部では自信をもってできることを増やす指導、中学部では、作業学習において数学の力を身に付けられる指導、高等部では卒業後の社会生活を見据え、家庭と連携して主体的に改善しようと取り組む力の育成を目指し、校内公開授業や研修会、御家庭や地域資源を生かした学習活動をとおして、よりよい授業づくりについて検討し、実践して参りました。しかし、一部C評価やE評価が見られることから個別懇談等で実施内容や児童生徒の様子をお伝えし、合意形成を図りながら行いたいと思います。

情報教育につきましては、E評価（分からない）が他の項目に比べ、多くなっております。学校では、児童生徒の実態に応じたICT機器を活用した授業も増えております。国語や算数・数学、体育、音楽といった教科での活用はもちろん、調べ学習、朝の会や帰りの会でも活用し効果を上げています。今年度も夏季休業中にタブレット端末の持ち帰りも実施しました。今年度は希望者のみといたしましたが、持ち帰りをした方への事後アンケートでは、おおむね良い結果となりました。今後も児童生徒一人一人の実態に応じた使用をすることでC評価を改善するとともに「分からない」というE評価を減らすために使用の様子等を伝えていきたいと思います。

【3 地域に開かれた学校の実現を図る】

どの項目もA+Bの評価が約9割となり、概ね良い評価となりました。

情報発信については、情報の種類や重要度等を踏まえて適切な手段を選択し、発信した結果かと思っています。また、今年度よりInstagramを開設し、学校での児童生徒の様子を伝えており、着実にフォロワー数も増えております。一部C、E評価が見られることから紙や一斉メールから送られる通知の数やホームページの見やすさ等、まだまだ改善と工夫の余地があると思われますので、引き続き検討していきたいと思います。

外部との連携や開かれた学校については、C、E評価が見られました。学校に来校する機会が少ない保護者の方には具体的にイメージがしにくく、「分からない」という回答につながったのではないかと考えます。実際はボランティアさんの活用も活発になり、授業や環境整備、また教材づくり等、様々な活動で活躍していただいております。このようなボランティアさんの活動を保護者にも周知していくよう努めていきます。また関係機関や企業や福祉施設、放課後等デイサービス等の連携につきましても適宜ホームページ等でお知らせしていきます。

今年度は、各学部の保護者会に合わせて全学部授業参観を実施しました。昨年度に比べると学校に来校していただける機会を増やしておりますので、来年度も機会を有効に活用していただければと思います。